



# 随想

## 夢



永田 小笠原 盈喜

70歳(古希)を迎えて早3年過ぎた。日本人の平均寿命から見て残りわずかだ。あと20年は生きられようか生きられれば90歳を過ぎる。何年かはわからないが、これからの余生の最大ののぞみは、無邪気に走りまわる孫娘が成人となった姿を何としても一見したい事だ。夢かもしれないが実現することもあり得る。長生きするため何か目的を持ち元気に生きていかなければ。その夢叶うまで自力で毎日生活する事「他人の手を借りる事なく」が必要だ。はたして何がよかるうか、一生懸命打ち込める事が。

どうせやるなら一人でやるより大勢の人たちとともに楽しく、また途切れることのないこと。その中に自分の生きた証をも残す事も入ってほしいと思う。人として生きた以上この世に何か残せられればすばらしい。人それぞれいろいろな事があると思う。さて自分には何があるだろうか、さまざまに思いをめぐらせた挙げ句、一つの事に思いついた。

4年ほど前から手掛けていること、桜並木の育成だ。最初に始められた先輩も何かの思いで今日まで永年続けられたことだろう。それに便乗さ

せてもらう事になるがお許しねがって、桜と孫娘に夢を託すことに。日本を代表する花、毎年春が来るたび美しく花を咲かせ世の人々を楽しませてくれるし万人が開花を待ち望む花だ。ごく限られた範囲ではあるが、約500メートルの間に100本余りの桜並木、これから20年も育てると樹高も4〜5メートルくらいになるだろう。これが満開となったとき、いったいどんな風景が目の前に展開されるだろうか、想像するだけでもワクワク。その為には桜も生きもの、常に桜と接し世話をしなくてはならない。

桜を育てるには、わがまま娘にはきびしい躰「形よい木にするための剪定など」も必要であり、また害虫との戦いと言うから何か双方似かよっているようだ。そんな満開の桜と孫娘の成長した姿とを瞼に浮かべながら見守っている。20年後、孫も桜もさぞ立派に育っていることだろう。見上げる頭上に大きく繁り、また空の青さも見えないくらいの花。そして人々に愛され親しまれる心やさしい人に育ってほしい。

それが私の夢なのだから。

# 1歳ですよろしく



たくさんたべて大きくなってね。

宮内 慧人 くん  
(筒井)  
平成18年9月11日  
父 一人 さん  
母 あかね さん



元気で優しい女の子に育ってね。

野村 温美 ちゃん  
(鶴吉)  
平成18年9月13日  
父 淳 さん  
母 瑞加 さん



元気で大きくなってね。

長見 咲紀 ちゃん  
(北黒田)  
平成18年9月20日  
父 幸太 さん  
母 美幸 さん



将来家族でロックバンドを組もうね！ドラマーよろしく！

村上 裕紀 くん  
(新立)  
平成18年9月20日  
父 日出夫 さん  
母 みゆき さん

10月に1歳になられるお子さんの写真を募集しています。背景が明るい横長の写真をお持ちのうえ、9月3日(月)~10日(月)の執務時間中に役場3階総務課広報情報管理係へ(先着6名まで)。

## 全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

相談内容 いじめ・体罰・児童虐待など、子どもの人権問題に関するあらゆる相談  
(予約不要・無料・秘密厳守)

日時 9月17日(月)~21日(金) 8時30分~19時  
9月22日(土)・23日(日) 10時~17時

電話番号 0120-007-110

相談担当者 人権擁護委員、法務局職員

問い合わせ 松山地方法務局 ☎932-0888